

公庫の教育融資 上期7億円超に

県内ひとり親特例反映

沖縄振興開発金融公庫（川上好久理事長）は7日、2016年度上期（4～9月）の教育資金の融資実績を発表した。件数は前年同期比8%増の699件、金額は同4%増の7億800万円となり、いずれも上期では過去最高。離島在住者や、ひとり親家庭の各利用増に加え、親の学び直しが対象の「ひとり親利率特例」の利用開始が反映された。沖縄公庫は「経済的負担の軽減と学ぶ機会の確保を支援したい」と活用を呼び掛けている。

教育一般資金の金利は固定で



教育資金融資の活用を呼び掛ける中村あやの室長（右）と宮城沢子さん＝7日、那覇市・同公庫本店

沖繩振興開発金融公庫（川上好久理事長）は7日、2016年度上期（4～9月）の教育資金の融資実績を発表した。件数は前年同期比8%増の699件、金額は同4%増の7億800万円となり、いずれも上期では過去最高。離島在住者や、ひとり親家庭の各利用増に加え、親の学び直しが対象の「ひとり親利率特例」の利用開始が反映された。沖縄公庫は「経済的負担の軽減と学ぶ機会の確保を支援したい」と活用を呼び掛けている。

年1・81%だが、特例では150万円を上限に離島在住者に対する利率を0・9%下げる離島利率特例制度や、ひとり親家庭や世帯年収200万円以下の世帯

帯の利率を、それぞれ0・4%下げる制度がある。離島利率特例は、ほかの特例制度と併用もできる。

今年4月開始の「ひとり親利率特例」の11月までの利用実績は4件で、資格取得費用などに充てられたという。

同公庫教育恩給担当室の中村あやの室長は7日、那覇市の本店で「進学先が具体化する10月から申し込みが増える。選択肢を広げるためにも制度を知ってほしい」とした。

教育資金融資の詳細や返済シミュレーションは沖縄公庫ホームページで確認できる。問い合わせは電話、098（941）1798。

教育ローン 上期最高

沖縄公庫 最大1.3%の金利優遇

沖縄振興開発金融公庫（川上好久理事長）は7日、2016年度上期（4～9月）の教育ローンの融資実績を発表した。件数は前年同期比49件増の699件で、融資総額は同3・5%増の7億800万円となった。



教育ローンの活用を呼び掛ける沖縄振興開発金融公庫の中村あやのさん（右）と宮城沢子さん＝7日、那覇市おもろまち

本年度に創設された150万円を限度に金利を1・3%低減する「教育ひとり親利率特例」は11月までに4件の利用があった。同特例は、就労に向けたスキルアップを支援する取り組みで、資格取得にかかる費用や学校への入学資金などに充てられる。

教育ローンは進学先が決まる下期に集中する傾向があり、前年度と同様な動きで推移すれば、通年でも最高水準になる見通し。沖縄公庫融資相談・教育恩給担当室の中村あやの室長は「公庫のホームページで返済のシミュレーションもできる」と語った。教育ローンに関する問い合わせは☎098(941)1798。